

委員会報告

桜川市議会議員は、全議員がいずれかの常任委員会に所属し、それぞれ掲げたテーマについて審査しています。このページでは、その審査内容や各委員会の活動状況を報告します。

今号は 総務常任委員会に注目

私たちが
委員です



大塚秀喜 委員長



勝田道雄 副委員長



増田 昇 委員



橋本位知朗 委員



鈴木好史 委員



増田 豊 委員

総務常任委員会では、8つの所管（市長公室・総務部・議会事務局・会計課・選挙管理委員会・固定資産評価審査委員会・公平委員会・監査委員）に属する事項並びに他の委員会に属さない事項を調査・審査します。

「デマンド型乗合タクシー」の利用者増加を



デマンド型乗合タクシーの利用登録について

デマンド型乗合タクシーを利用するためには、事前登録（無料）が必要となります。利用希望の方は下記までご連絡ください。

- ◎桜川市役所 代表TEL 0296-58-5111
（大和庁舎：企画課、岩瀬庁舎：地域窓口課、真壁庁舎：地域窓口課）
- ◎桜川市岩瀬商工会、桜川市真壁商工会、桜川市大和商工会

十一月二十一日、デマンド型乗合タクシーの利用状況と対応について協議を行いました。デマンド型乗合タクシーの一日当たりの平均利用者は七三・三人と、当初見込みの一二〇人より少ない状況で、このままでは料金収入が当初

予算額を下回り、市の負担が増加する見込みとの説明を受けました。この現状を市民に知っていたため、継続的なPR活動の推進と、利用者増加のための対策について検討するよう要望しました。

次期電算システム導入を慎重に進めるよう要望しました

現在稼働中の電算システムは、平成二十一年度末に契約満了を迎えるため、情報化推進委員会等、庁内組織において調査研究を行い、電算システム研究会報告書を精査した結果、（株）茨城計算センターの提供する業務システムが適しているとの説明を受けました。調達に際しては、経費がかからない安全なシステム構築を慎重に進めるよう、要望しました。

ごみの出し方や所有権、ごみの有料化について協議

福祉環境常任委員会

（委員長 萩原 實、副委員長 風野和規、委員 林 悦子・横田 衛・川那子秀雄・高田重雄）

「桜川市廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例」については、新たに家庭系ごみの排出方法、排出された資源物の所有権、持ち去り禁止の条項が加えられたことについて説明を受け、今後のごみの有料化について協議を行いました。



後期高齢者医療広域連合規約が変更になりました

十一月二十一日、茨城県後期高齢者医療広域連合規約を変更

したという説明を受け、審議しました。変更点は、広域連合の議会議員定数を現行の二十二人から四十四人に改め、議員は関係市町村の議会議員よりそれぞれ一名を選挙し、円滑な運営のため市町村長の代表者で組織する協議組織を置くことができるようになったことです。また、現議員の任期満了日が平成二十一年三月十九日のため、関係市町村は平成二十一年二月十七日から三月十八日の間に選挙を行う旨の説明を受けました。

筑西広域市町村圏事務組合の規約及び筑北環境衛生組合規約の変更については、事務効率の観点から合併後の市の区域に合わせた組織に変更するとの説明を受けました。

経費節減のため、景観形成総合支援事業を導入

文教常任委員会

（委員長 小高友徳、副委員長 古川静子、委員 菊池節子・小林正紀・相田一良・潮田新正）

十二月二日、現在まで合併特例債事業として「多目的複合施設建設事業」を進めてきましたが、財政状況が厳しい中、少しでも負担軽減が可能な補助事業として、国土交通省による「景観形成総合支援事業（魅力的な歴史的風致を持つまちづくりを推進するための支援事業）」を取り入れたとの説明を受け、協議を行いました。

これにより事業費の三分の一に当たる三、〇五〇万円が国庫補助金として交付を受け、実施設計及び真壁中央公民館・歴史民俗資料館・母子センターの解体撤去工事を補正予算により行うとのことでした。

事業の取り組みについては、経費節減に努力するとともに、多目的複合施設の実施設計では、お年寄りや障害者の方がスムーズに車での乗降ができるよう



元真壁農協支店の東側道路の大型バス進入計画を検討中

建設経済常任委員会は継続調査中のため次号に掲載します

委員会報告は、シリーズで毎号順番に1つの委員会を大きく取り上げて紹介します